

第124回理学部コロキウム

福島第1原子力発電所事故後の 日本原子力研究開発機構の取り組み

日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門
企画調整室 次長 川瀬 啓一



日時：7月27日（水）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）
オンライン Zoom（教職員・学生の皆さんにはミーティングIDとパスコードを別途お知らせします）

2011年3月11日に発生した東日本大震災とその後の津波により、東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所（1F）事故が発生しました。日本原子力研究開発機構（原子力機構）は災害対策基本法の指定公共機関として、事故直後の緊急時対応を行うとともに、我が国唯一の原子力に関する総合的研究機関として1F事故の対処に係る研究開発などに取り組んでいます。

11年前に発生した1F事故の概要と、原子力機構の廃止措置と環境回復への取り組みについて福島研究開発部門の活動を中心に紹介します。

世話人からの紹介；化学プログラムの学部生または院生がここ7年ほどほぼ毎年就職している日本原子力研究開発機構に講演を依頼し、学部1、2年生にもわかりやすいよう「大学等への公開特別講座」より本テーマを講演頂くことになりました。

ご参加よろしく申し上げます。 化学プログラム長 古川 和広

問い合わせ先：井筒ゆみ (izutsu@gs.niigata-u.ac.jp)